

演劇 部門は



ロンドン大学

ロイヤルホロウェイの能舞台

～英国における日本文化の知識拡大を目指して～



ROYAL
HOLLOWAY
UNIVERSITY
OF LONDON

ロイヤルホロウェイについて

ロイヤルホロウェイの創始者、Thomas Holloway (1800-1883) は特許業により自力で巨万の富を得た億万長者でした。1886年6月30日に、ヴィクトリア女王がロイヤルホロウェイ開校を主宰して以来、大学は規模的にも地味的にも成長を続け、国内でもトップクラスの研究主導施設となりました。1985年にベッドフォード大学との合併を受け、ロイヤルホロウェイはイングランドの大学の中で5番目に歴史の古い大学となりました。

能とは何か？そして能の重要性とは？

能とは、14世紀に日本で生まれた伝統芸能の1つです。世界でも有数の歴史を持ち、現在もなお継続している文化です。

能は世界の舞台文化の中でも、驚くほど詩的で儀式的な側面を持ち、叙情的にも洗練された独特な芸術とされています。2008年にユネスコから「無形文化遺産」に指定されました。能の劇は、有名な戦士、幽霊、神々や悪魔などの話が描写された日本の古典文学や詩に基づいて描かれています。神道や禅の教えを引用した演技の美学によって、能は日本の伝統文化の根幹にあたる部分を組み込んでいます。

能は、落ち着いたある美学として名高い、威厳ある芸術です。雰囲気のある音楽につ

つまれながら、能役者たちは、きれいに装飾された面や衣装、小道具を使って登場人物に命を吹き込みます。能の教えは、異なる文化の懸け橋となり、西洋のパフォーマンスに対して新たな可能性を提案しています。

半田能舞台

「半田能舞台」は、伝統的なデザインに基づいて設計されたもので、1991年にジャパンフェスティバル実行委員会および三菱自動車からロイヤルホロウェイに寄贈されました。劇場の見事な外観装飾と観客席部分は、芸術をこよなく愛する日本人、半田晴久氏によって1999年に寄贈されました。

ロイヤルホロウェイの演劇

ロイヤルホロウェイの演劇部門は、1978年に設立されました。その教育と研究における質の高さは国内トップレベルと評価されており、英国内でも最大級の演劇学部の一つとされています。





ロイヤルホロウェイにとっての能の重要性

ロイヤルホロウェイの演劇学部では、能が30年以上教えられています。

学生たちは、実際の舞台の上で能楽を学ぶ希少な機会を得て、演劇への理解を増幅させ、新たな劇におけるアイデアに開眼しています。

能についてより理解を深めるために、学生たちは日本文化の礎となる歴史、宗教、美学について学んでいます。ロイヤルホロウェイのカリキュラムに能が含まれていることで、学生たちの日本文化や社会に対するより深い理解が養われています。

2014年には、能トレーニングプロジェクトUK（2011年設立）の活動に、日本政府から1998年に重要無形文化財として指定された能役者、松井彬氏を初めて迎えました。ロイヤルホロウェイには独自の能グループがあり、能のパフォーマンスの練習のために、年間を通して2週間に1回のペースで集まっています。教員や学生、一般からの参加があります。

国際交流基金、大和日英基金および個人の支援者の方々からのご寄付を通じて、能学部では下記の道具や備品を所有しています。

- ・ 能面 4つ
- ・ 能の舞台用衣装 2着
- ・ 能の舞台用扇子 1本 練習用扇子 多数

図書館には能関連の書籍があり、英書150冊、和書90冊があります。



Poh-Sim Plowright博士は、能の研究に生涯をかけ、1991年にロイヤルホロウェイに能舞台を運び入れる際の責任者となりました。博士は、2005年に退職するまで、日本演劇のユニークな形である能について、日本文化と能が西洋の演劇に与えた影響に対する自身の識見を交えながら英国の学生たちに紹介してきました。

Ashley Thorpe博士は、2013年9月に演劇学部に参加しました。1999年から能について研究し、最初はレディング大学にて能を教えました。2011年には、能楽の教授であるRichard Emmert氏の指導の下、ヨーロッパでは初となる年間の能のトレーニングプログラム、能トレーニングプロジェクトUKをレディングで設立しました。



ロイヤルホロウェイの能の未来と展望

今後、ロイヤルホロウェイでは、小道具や備品を充実させ、設備の改善を行ないながら、英国、ヨーロッパでの日本文化の理解強化に努めていきます。

3つの目標を掲げて取り組みます。

- ・新たな能舞台建築に向けての資金調達。

これにより舞台の高さを適切に調整し、傾いた屋根を拡張し、舞台全体にかかるようにする。

- ・英国、ヨーロッパでの日本文化の理解を深めるために、ロイヤルホロウェイ内に日本能資料センターを設立。

- ・能に関する資料への出資、資料へのアクセス強化。

私たちはみなさまのご協力を求めています。

ご協力いただく方法は様々あります。練習用の能面や扇子購入に対するご寄付、演劇開催時のスポンサー、能の施設建設に必要な資金のご寄付などです。

ご協力いただく皆様へは、そのお礼としていろいろな特典を考えています。支援者の皆様に参加するサークルへの会員登録、各種イベントへのご招待、宣伝・プロモーションの共有、ご要望に応じたコーポレートイベントの開催、そして、命名権などです。

ヨーロッパ唯一の本格的な能舞台の継続と完成に向けて、また、日本文化のますますの浸透のために、皆様が担う重要な役割について、何ができるのかを考えるために是非私たちまでご連絡いただければと思います。

Lauren Parker, Major Gifts Manager
Development & Alumni Relations
lauren.parker@royalholloway.ac.uk
+44 (0)1784 414991





Contact information

Department of Drama & Theatre
Royal Holloway, University of London

+44 (0)1784 443922

For more information visit
royalholloway.ac.uk/drama



Royal Holloway, University of London
Egham, Surrey, TW20 0EX
T: +44 (0)1784 434455
royalholloway.ac.uk